

平成29年 NO. 4

コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

H29.12.15

(事務局：国見町教育委員会学校教育課 ☎585-2892)

教育フォーラム2017開催

平成29年11月25日(土) 観月台文化センター

国見町では、コミュニティ・スクールの仕組みを取り入れ、保育所から中学校まで、「自ら学び、心豊かでたくましく、郷土を愛する」子どもを育てるために一貫した保育・教育に取り組んでいます。そして、家庭や地域、学校が一体となった保育・教育をめざしており、多くの皆様からボランティアや様々な活動でご協力をいただいています。

この教育フォーラムは、国見町の保育や教育の取組を知っていただくとともに、子どもたちをどう育てればよいかを学ぶ場です。

第1部で町内各学校のコミュニティ・スクールに関連する活動について各校長が発表を行いました。ふるさと国見を学ぶ取り組みやボランティアの協力による体験活動等、子どもたちにとって大変意義のある活動が行われており、コミュニティ・スクールが国見の保育・教育を支えていることが分かりました。

○藤田保育所

英語活動や読み聞かせなど、めざす子どもの姿に向けて、保育所生活に無理なく取り組んでいる。野菜栽培でボランティアの方と親しくなった。

○くにみ幼稚園

地域人材の活用、地域団体との連携、保護者による教育活動への支援を積極的な活用を図っている。

○国見小学校

地域の自然、人、産業、文化遺産を生かした見学活動や体験活動、そして地域の伝統文化を継承する教育活動を行っている。

○県北中学校

英語学習に関する国見町の特色ある取り組み。コミュニティ・スクール委員会で部活動再編に向けた話し合いを行い、課題解決に向けて一歩前進できた。



藤田保育所 阿部所長の発表



文科省CSマイスター 四柳千夏子 氏

第2部では、文部科学省コミュニティ・スクールマイスターである四柳千夏子さんが、「子どもの未来のために、今、私たちにできること～地域とともにある学校づくりに向けて～」の演題でお話をいただきました。

- ①課題があったらそれを一つずつ乗り越える
- ②なぜそれに取り組むかを考える等

コミュニティ・スクールや学校支援のあり方について具体的な助言をいただくことができました。



マニフェストを発表するグループ

第3部では、少年仲間づくり教室生と桜の聖母短期大学の学生が、「道の駅をもっとステキに」をテーマに、政党のマニフェストになぞらえて道の駅にもっと多くの人々に来場していただくための改善や企画について提案を行いました。どのグループとも、子どもならではの素直で斬新な内容であり、会場においてになった皆さんから大きな拍手をいただきました。道の駅の担当者からそれぞれの提案に対する感想が述べられ「直ぐにできるものから取りかかります」との言葉もありました。子どもたちの社会参画と町づくりへの意識を高めることができたワークショップでした。

第4回国見学園コミュニティ・スクール委員会報告

平成29年11月14日（火）くにみ幼稚園

幼児期の体力づくりは園と家庭の連携が大事

遊戯室で年長の運動遊び、園庭で子どもたちの外遊びを参観しました。子どもたちは幼稚園のめぐまれた施設・環境を十分に生かした体力づくりに取り組んでいました。

今回は「幼児期の体力づくりについて」をテーマに熟議（意見交換）が行われました。委員からは、

- ・冬期間でも体力づくりをする施設設備が整っている。楽しみながら運動をする習慣を身に付けさせたい。
- ・家庭でできる運動として体を使った遊びやストレッチ、柔軟運動を提案してはどうか。
- ・食事（肥満）等家庭生活も大きな問題。幼稚園から家庭に情報を発信することが必要。大人になっても健康に生活できるよう、自己管理ができる子どもたちにさせたいものです。